
うそつきはやめましょう、気をつけないと狼男ですよ！！

なお

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

うそつきはやめましょう、気をつけないと狼男ですよ！！

【Nコード】

N5065K

【作者名】

なお

【あらすじ】

主人公桜田はごく普通の学生だった。

ただ一つうそつきだったという点を除いて……

嘘から出た誠。それは漫画の世界の話だと思ってた……

「おい！お前の家燃えてるぞ！！！！」

「え？マジ！？」

「……嘘。何回引つかかるんだよー」

俺の名前は桜田。まあ、みんなからはさくつちと呼ばれている。

あだ名というのは突然できるもので、いつの間にそんなあだ名が付けられたかなんて覚えていないわけだ。

「なんだよ、さくつち。また引つかけたのかよー！！」

俺の前でわめいている学生服を着た男子の名は米倉という。こいつはあだ名はない。

まあ、特徴がないもので……おっとひとつだけありました。騙されやすい。

米倉はエイプリルフルになるとクラス中の皆に騙されてるな、そういうや。

だが、俺はエイプリルフルだけ騙すなどという無粋なまねはしない。

年中騙してやっている。

おかげで俺の裏のあだ名は嘘つき君ときたもんだ。

だが、人をだますことに目覚めてしまった俺はそんなこと気にしない。

「お前さあ、いつか、狼少年になっちまうぞ」

ああ、嘘つきすぎて、ほんとのことが起こっても誰も信じてくれなかったあれか。

「大丈夫。いざとなったら信じてくれるって」

と俺が言つとそいつはあきれた顔でどこかへ行ってしまった。

学校が終わると俺は普通に家に帰った。

そして普通にご飯を食べ、普通に床についた。

次の日俺は普通に学校に行つて、席に着いた。
だが、俺の普通はこのときから変わってしまった……

俺の席の前は米倉だ。だが、まだ来ていない。おかしい。米倉はいつも俺より先に来ている。風邪でも引いたのか？
ふと、クラスメイトの声が耳に入った。

「おい、聞いたか、米倉の家が昨日の夜遅く燃えたつてよ」

「ええ？マジでか……？」

「ああ、しかも米倉の母と父が炎に焼かれて死んだつてよ」

「米倉は？」

「あいつは無事だったらしい」

それを聞いたとき俺は呆然となった。

体中の力が抜けてしまった。

何？米倉の家が燃えて、両親が死んだ？

「んなバカな……」

そして俺は思い出した。

昨日、嘘で言ったことを……俺の心の中に重りが落ちてきた。
どうしよう、もしかしたら俺のせい……？なんて思えてきた。
もし今度会つたらなんて言おう……

謝るべきか？いや、でも俺は何もしてないわけだし……いや、しかし……

俺はとてつもなく悩んだ。そして苦しんだ。

そして、あくる日。

俺が教室に行くと、米倉がいた。

米倉は席に座っていて、周りには誰もいなかった。まるで米倉の周りだけ異質な空気が流れているみたいだ。

俺は席に着くのをためらい、教室からカバンを持ったまま出て、トイレに行った。

どうしよう。俺のせいだ……俺があんな軽率な嘘をつくから……もう、米倉とは話せない……

膝を抱えて座っていると、誰かが俺の背中を軽くたたいた。

「？」

俺は後ろを向いた。驚愕した。そこにいたのは米倉だった。

「何やってんの」

「……」

俺はしゃべることができなかった。

膝を抱えたままじっとしていた。

蛇に睨まれたトカゲというのはこういうことを言うのだろう。俺はこんな危機的状況のなかそんなバカみたいなことを考えていた

「あのさ、昨日俺の家が燃えたんだ……」

知っている。そして俺は無言

「それってさ、お前の言った嘘が本当になったんだ」

俺はもういつその場から逃げ出したかった。

もう嘘はつかないことにするからこの場から去りたかった。

「でな、それはなもちろんお前のせい………だぜ」

（後書き）

微妙ですよね・・・

この後の展開はご想像にお任せします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5065k/>

うそつきはやめましょう、気をつけないと狼男ですよ！！

2010年10月28日07時34分発行